

弁城の

祭



待

ちに待った2年に1度の山笠運
行。新緑の山々に甲高い鉦の音
がこだまし、弁城地区の山笠とかき手
たちの魂に火が灯る。岩屋神社の
神幸祭が5月11日から2日間にわたり
行われ、伝統に裏打ちされた誇りある
祭事を2年ぶりに謳歌した。

この神幸祭の山笠は、福智町の他地区
と比較して大きな特徴が二つある。一つ
はおよそ4倍にもおよぶ真つ白な馬簾。
山笠が傾くたびに流れるように大きな弧
を描き、青空に白線を幾重にも重ねる。

そしてもう一つの特徴は囃子。弁城神幸
祭は笛を加えず、太鼓と鉦だけで祭りの
きらびやかさを表現する。この二つの特
徴が相まって、これぞ「弁城」という独
特の雰囲気醸し出す。

5月12日に行われた「山笠競演会」で
は、常会7基の山笠がそろう、弁城の祭
りを印象づける馬連を揺らしながら豪
快な練り回しを披露。夕方へとさしか
かる陽差しが金色に輝く飾りを一層際
立たせ、会場に花を添えると、2年ぶ
りの祭りに終演を告げた。

